

第1回水稲病害虫発生予察結果（伊豆市内）



4月下旬～5月上旬植えの早生品種（コシヒカリ等）

【生育状況及び病害虫発生状況】

コシヒカリは、1株の分けつは遅い田んぼで **12～21本**、早い田んぼでは **20～30本** となっています。分けつ本数の平均が20本程度となったら中干しを行ってください。

1株の分けつ本数の平均が20本に満たない田んぼについては、分けつを20本にするため、昼間は田んぼの水を止め、水温を確保し分けつ本数増加に努めてください。

また、1株の分けつを数える際には用水の入口付近は水温が低く生育が遅いため計測せずに、田んぼ中ほどの株の分けつを計測をしてください。

病害虫の発生は確認されませんでした。カメムシの大量発生が予測されているため、田んぼ周辺の草刈りを行いカメムシの繁殖場所をなくすよう管理をお願いいたします。



水の入口付近の生育の様子
手前の生育は遅く、奥は成長している

【中干しについて】

中干しは、分けつ本数が平均20本程度となったら、水を抜き、田の表面に軽くヒビが入る程度まで行ってください。中干しは、地中のガス抜きや、穂になりにくい無駄な分けつを抑えるための作業となります。その際の天気の状態により晴天時は2～3日程度、雨が続きときは1週間程度を目安に行ってください。

また晴天が続いている場合、中干しをやりすぎてしまうと田んぼに大きくヒビが入ってしまい根を切断し、生育が悪くなってしまうこともありますのでご注意ください。



中干しの目安

【雑草について】

コシヒカリ等の早生品種では、オモダカ、ホタルイなどの水田雑草の発生が確認されました。雑草を確認したら早めの除草剤散布を行ってください。

中干しの際に使う除草剤として「バサグラン粒剤」があります。使用の際は、田んぼを落水状態（足跡に水が少し残る程度）にして散布を行ってください。また、散布後2～3日に田んぼに水を入れたり雨が降ってしまうと効果が低下しますので、**散布後3日間は雨の降らない日を狙って**散布してください。

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
バサグラン粒剤	移植後15～55日 (ただし収穫60日前まで)	落水散布または ごく浅く湛水して散布	3～4kg/10a	1回

5月中旬～5月下旬田植えの中・晩生品種(きぬむすめ、あいちのかおり SBL 等)

【生育状況及び病虫害発生状況】

5月中下旬に田植えを行った中生・晩生品種の水田では、順調に分げつ数が増えてきております。分げつ数を確保するために昼間は水を止め、水温を確保するように努めてください。

今回の調査では病虫害の発生は確認されませんでした。

【雑草について】

田植え後に雑草の発生が多く見られる田んぼで、薬剤にて防除をする際には、発生している雑草の種類に適応できる薬剤を選択するようにしてください。

薬剤を使用した後は田面が露出すると薬剤の効果が落ちるため水が無くならないように用水管理に留意してください。



田面が露出している状態



今後の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！

作成日：令和6年6月5日

J Aふじ伊豆修善寺営農経済センター

担当：竹村

電話：0558-72-4461